

-는 통에

～するせいで（騒がしい状況が原因で）

混乱や騒ぎが原因で困ったことになったと述べます。日本語に一語の対応がなく、「せいで」が近くなります。

■ つけ方

状況	形	例
動詞	-는 통에	울다 → 우는 통에
ㄹ 語幹	ㄹ が落ちる	떠들다 → 떠드는 통에
名詞	통에	난리 통에
後ろ	困った結果	못 했다・놓쳤다 など
形容詞	つかない	바쁘는 통에 (×)
分かち書き	통 は名詞	우는 통에

■ -느라고 とどう違うか

騒がしい状況が原因で困ったと述べます。아이가 우는 통에 잠을 못 잤어요（子どもが泣くせいで眠れませんでした）。

混乱や騒ぎが前提です。느라고 が「自分がそれに時間を使った」なのに対し、-는 통에 は周りが騒がしくてという外的な妨害。日本語の「せいで」の中でも、騒動を指す場合に当たります。

主語が別でもかまいません。느라고 が主語を揃える必要があるのに対し、통에 は他人の行動が原因でも使えます。

形容詞にはつきません。状態は騒ぎを起こさないからです。

■ 例文

- 1 아이가 우는 통에 잠을 못 잤어요.
子どもが泣くせいで眠れませんでした。
- 2 사람들이 떠드는 통에 아무 소리도 못 들었다.
人々が騒ぐせいで何も聞こえなかった。
- 3 짐을 챙기는 통에 지갑을 놓고 왔어요.
荷物をまとめるどさくさで財布を置いてきました。
- 4 난리 통에 서로 연락이 끊겼다.
騒ぎの中で互いに連絡が途絶えた。
- 5 공사하는 통에 시끄러워 죽겠어요.
工事のせいでうるさくてたまりません。
- 6 갑자기 비가 오는 통에 다 젖었어요.
急に雨が降るせいで全部濡れました。

■ 紛らわしいもの

-느라고
自分がそれに時間を使った場合です。통에 は外的な騒ぎが原因です。
자느라고 못 받았어요. (自分が) / 아이가 우는 통에 (他人が)

-는 바람에
予想外の出来事が原因です。통에 は騒がしさが前提になります。
늦잠을 자는 바람에 (出来事) / 떠드는 통에 (騒ぎ)

-(으)로 인해
客観的な原因を示す書き言葉です。통에 は口語的で不満が混じります。
폭우로 인해 (客観) / 비 오는 통에 (不満)

■ まちがえやすい点

- × 바쁘는 통에
○ 바쁜 와중에
形容詞には使えません。
- × 우는통에
○ 우는 통에
통 は名詞なので分かち書きします。
- × 떠들는 통에
○ 떠드는 통에
ㄹ 語幹は -는 の前で ㄹ が落ちます。